



2025年2月19日

各 位

会社名 横浜ゴム株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 山石 昌孝
(コード番号：5101 東証プライム)
問合せ先 法務部長 増田 万博
(TEL. 0463-63-0429)

自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ
(会社法第 459 条第 1 項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得
及び会社法第 178 条の規定に基づく自己株式の消却)

当社は、本日開催の取締役会において、会社法第 459 条第 1 項及び当社定款第 34 条の規定に基づき自己株式を取得すること、及び会社法第 178 条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 自己株式の取得を行う理由

当社は、2024 年 2 月 16 日に公表した 2024 年度から 2026 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク)において、企業価値向上の基本方針を「成長戦略」として、微増に甘んじることなく「Hockey Stick Growth」(「うなぎ昇り」の成長)を達成することを目指しております。また、「財務戦略」として、この「成長戦略」を実現するうえで事業構造に最適なバランスシートとして自己資本比率 50%を目安とすることを方針としております。

このような方針のもと、当社の 2024 年 12 月期の業績は、2024 年 8 月に増額修正した事業利益計画 1,285 億円を大きく上回る 1,344 億円(前年比 35.6%増)を達成し、過去最高益を更新しました。成長投資については、本年 2 月 4 日(日本時間)に予定通りザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー社の鉱山・建設車両用タイヤ事業の譲受を完了し、「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」における戦略投資を全て実行に移しました。

また、株主還元方針についても、総還元性向の目標である 30%の目標達成時期について、戦略投資が一服し、2026 年 12 月末には自己資本比率が 50%を超える見込みであることから、YX2026 の最終年度である 2026 年に前倒しすることにいたしました。

一方、原材料費の高騰、自動車用タイヤにおける競争激化、農業機械の新車装着向けタイヤの需要低迷への懸念などが、弊社の評価に影響を与えていると考えております。このため、今般当社は、最適資本構成の方針や株主還元方針に基づき、資本効率を一層高めるべく、自己株式の取得を決定しました。なお、本件は当社の成長戦略と資本効率向上の両立を図るものであり、成長投資に対する当初の優先順位とコミットメントに変わりはありません。

当社は資本コストを意識した経営を推進しており、安全性と効率性のバランスを確保しながら最適な資本構成を実現することで資本コストを低減し、併せて「戦略投資」を積極的に実行することで「Hockey Stick Growth」の達成を目指してまいります。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数 240 万株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合：1.50%)

- (3) 株式の取得価額の総額 60 億円(上限)
- (4) 取得期間 2025 年 2 月 20 日から 2025 年 8 月 31 日まで
- (5) 取得方法 自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付

3. 自己株式の消却の内容

- (1) 消却する株式の種類 当社普通株式
- (2) 消却する株式の総数 3,714,700 株(上限)
- (3) 消却予定日 2025 年 9 月 20 日

(ご参考) 2025 年 1 月 31 日時点での自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	159,481,961 株
自己株式数	10,067,120 株

以 上